

I 情報収集提供業務

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報について、収集、整理及び提供を行っている。平成25年度においては、当機構業務であるこれら品目の生産者の経営安定対策、需給調整・価格安定に関連したテーマを中心に、農政上の重要課題である農畜産業の6次産業化、担い手の確保等に向けた取組など調査テーマを定め、これらの分野に重点化して業務を実施した。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等について、機構職員や専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

機構職員による価格・需給データ、需給関連の調査分析報告及び優良事例等の調査等を基本に、国際会議等への参加による情報収集に加え、コンサルタントの活用等により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

「畜産の情報」、「野菜情報」及び「砂糖類・でん粉情報」の発行による提供を行った。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に加えて、年報「畜産」、「畜産物市況週報・市況速報」、「地域だより」、「国際情報コーナー」及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより、各情報誌の発行情報、海外情報、alicセミナー開催情報等の迅速な提供を行った。

(4) alicセミナー等による提供

本部・地方事務所に情報提供の場を設けて、生産、流通、消費、制度等に関する情報のほか、海外現地調査に関する情報等について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・わが国におけるコントラクター成立のメカニズム～岡山県を事例に～
- ・養豚経営体における飼料用米活用に係る取り組みについて
- ・自給飼料を活用した低コスト酪農経営～（有）土里夢農場と（有）TMRうべつ（岩手県）の取り組み～
- ・地域資源活用型TMRを利用した大規模肉用牛一貫経営の取り組み

- ・自給飼料・エコフィールドに立脚した赤身牛肉の生産に活路～北海道安平町「内藤あんがす牧場」～
- ・ミャンマーにおける飼料原料生産の展望～油糧作物と搾油かすの輸出可能性～
- ・日本・EUの牛肉輸出入解禁を踏まえたフランスの状況
- ・アルゼンチンのトウモロコシ生産状況など～ブエノスアイレス穀物取引所の見通しより～
- ・韓国の飼料需給事情～韓国の飼料穀物高騰への対応と対策～
- ・世界の酪農の現状と展望～GIRA Dairy Club およびEDA (European Dairy Association)会議から～

(2) 野菜

- ・高品質なフルーツトマトを生かした6次産業化の取り組み～高知県の池一菜果園の事例～
- ・JA全農による加工・業務用野菜の産地間リレーへの取り組みとその課題・国産冷凍野菜ニーズ拡大に対応した野菜産地の対応～ジェイエイフーズみやざきと都城くみあい食品による取り組み～
- ・2012年産の米国カリフォルニア州野菜生産の概要等
- ・中国有機野菜の生産・流通課題と管理監督制度
- ・2012年産の米国における生鮮野菜のトピックスについて
- ・生産コスト上昇が継続する中国野菜の生産・輸出の動向
- ・台湾における日本産野菜輸入の現状

(3) 砂糖

- ・メイチュウ類の防除対策と産業連携による単収向上への取り組み～奄美大島での取り組み～
- ・城久(ぐすく)集落受委託部会における集落営農の取り組み(鹿児島県喜界町)
- ・畑作生産者と製糖事業者が一体となって取り組むてん菜生産
- ・サトウキビ生産をめぐるリスクー南大東島を中心にー
- ・インド砂糖産業の改革の行方～Rangarajan Report砂糖制度改革
- ・フィジーの砂糖事情～生産性の向上とEU砂糖制度改革への対応が課題～
- ・国際砂糖価格下落下におけるタイ砂糖生産の動向

(4) でん粉

- ・ジャガイモシストセンチウ抵抗性品種の普及拡大に向けて
- ・かんしょでん粉品質向上に関する取り組み
- ・種子島におけるでん粉原料用かんしょの単収向上に向けた取り組み
- ・かんしょでん粉廃液の有効利用～サツマイモペプチドの機能性～
- ・カンボジア、ラオスにおけるキャッサバ事情
- ・タイのエタノール政策と砂糖およびでん粉業界への影響
- ・2012年のCAP見直しにおけるEUのでん粉事情 (EU全域)